



東陽病院内科医師 鈴木健士

健康ウオッチング

横芝町のみなさんこんにちは。今回は、脳卒中の患者さんに対する緊急対処法についてお話したいと思います。

脳卒中とは急性の脳血管性障害のことで、脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血、一過性脳虚血発作などのことを差します。

これらの病気はどれも緊急性のあるものばかりですが、特に危険なのがクモ膜下出血です。これは脳の表面にある血管が破れて出血を起こす病気です。症状は、突然の頭痛で頭をガーンと殴られたような痛みを訴える方が多いようです。同時に吐き気を伴うことが多いようです。人によつては突然意識がなくなつてしまつたり、稀ですがあつという間に呼吸が止まつてしまう場合もあります。しかし、症状があまりはつきりせず診断が難しいケースもあり、厄介な病気です。症状のポイントにはジワジワと痛くなるのではなく、突然にガーンと痛くなる、その痛みの始まり方です。

対処法ですが、この病気は初めの発作の後に再出血すること

がありますから、突然強い頭痛があつたらあまり強い刺激はしない方が良いでしょう。出来るだけ早く安静に病院へ来て下さい。動かすのが難しければ救急車を頼んでよいと思います。次に脳出血と脳梗塞ですが、この二つは症状、対処法ともあまり変わりがないのでまとめてお話しします。これらの病気は脳の内部の血管が出血を起こすか、詰まつて血液が行かなくなるかして、脳の一部が死んでしまう病気です。一旦血液の流れが悪くなるが、また流れ出す状態が一過性脳虚血です。症状は障害を受ける脳の部位によつて違いますが、多く見られる症状は片方の手足が動かなくなつたり、会話の呂律が回らなくなるなどです。しかし、生命の中核の脳幹部に病変があれば、突然意識がなくなつたり、呼吸が止まつてしまう事もあります。

対処法としてはこちらは安静にといい必要はありません。しかし、もちろんのんびりしてい

てよい状態ではありませんから、出来るだけ急いで病院に来て下さい。どちらにしてもまず大切なのは、状況をしっかりと把握する事です。触るのがこわい気がするでしょうが、まずは、はつきりとした声で名前を呼んで話し掛け、意識がはつきりしない状態なら肩を叩きながらも一度呼んでみて下さい。それでも返事しなければ呼吸状態をよくみて呼吸が無ければ人工呼吸（口口呼吸・マウスツーマウス呼吸）が必要となります。脈が触れなければ心臓マッサージも必要です。後は急いで救急車を呼んでください。呼吸がしつかりしていたら慌てずに患者さんの訴え、状態をはつきりと救急隊に伝えてください。吐き気がある時は横向きに寝かせて運ぶ時もそつと動かすようにしましょう。

まず大切なのは慌てない事です。



20歳になったら「国民年金」

年金だより

～年金は世代と世代の支えあい

「20歳になったあなた」国民年金に加入して大人の仲間入りしましょう。



成人式を迎えられたみなさん、おめでとございます。20歳になると、成人として多くの権利が認められますが、また同時に新たな責任も加わります。国民年金に加入することもその一つです。国民年金制度は、老後の備えを助けると共に、病気やケガ、死亡などにより生活の安定が損なわれたときに、国民みんなが助け合うという社会的な支え合いで成り立っている制度です。我が国では、20歳から60歳になるまでの全ての国民は必ず国民年金制度の一つに加入することになっており、厚生年金、共済組合に加入していない学生や自営業、農業などの方々も国民年金に加入しなければなりません。